



2027年3月期 第1四半期決算短信 (日本基準) (連結)

2026年8月12日

上場会社名 株式会社 関門海

上場取引所 東

コード番号 3372 URL <https://www.kanmonkai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 久美子

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長

(氏名) 関口 弘一

TEL 072-349-9329

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	847	△11.3	△126	—	△130	—	△88	—
2026年3月期第1四半期	954	3.7	△82	—	△87	—	△56	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △85百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 △59百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△6.48	—
2026年3月期第1四半期	△4.16	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,614	1,322	50.6
2026年3月期	2,710	1,407	51.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 1,322百万円 2026年3月期 1,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—				
2027年3月期 (予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年 3月期の連結業績予想 (2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	1,800	△4.9	△250	—	△260	—	△170	△12.41
通期	5,250	△0.4	180	△4.9	155	△12.3	120	8.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) , 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P.6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	14,000,900 株	2026年3月期	14,000,900 株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	302,147 株	2026年3月期	302,147 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	13,698,753 株	2026年3月期1Q	13,698,753 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.2「1.経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(四半期連結損益計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間は、雇用・所得環境の改善が行なわれている一方、ウクライナ情勢や中東情勢の長期化等による資源価格上昇や供給面への影響懸念などにより消費者マインドの低下も見られ個人消費は弱含みで推移しております。

当社グループにおいては、新たにフードデリバリーの「ロケットナウ」を導入したほか、好評を得ているうなぎ料理の増量フェア、季節のコース料理「春霞膳」「夏安居」の投入、「母の日」「父の日」のフェアを行うなど販売を強化しました。6月には中華圏最大級の口コミサイト「大衆点评」において浅草店が「必吃榜（ビーチャーバン）2026」を受賞し、今後の集客材料の一つとして見込んでおります。また、本部においては、外部流通卸等への加工食材等の販売が順調に推移しており、今後も人員の確保を行い本社工場の体制強化を進めていきます。

当社グループの主力事業である「玄品」等の直営店舗では、中国本土からのインバウンド旅行者の来店数の落ち込み等により、前第1四半期連結累計期間と比較して、直営店舗の既存店売上高は、前年同四半期比12.0%減となりました。当第1四半期連結会計期間末の直営店舗数は、フランチャイズからの業態転換により前期末から1店舗増加し42店舗、直営店舗の売上高は683百万円（前年同四半期比9.4%減）となりました。

フランチャイズ事業におきましては、とらふぐ等の食材販売等の売上高及び既存店店舗末端売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。当第1四半期連結会計期間末のフランチャイズ店舗数は、直営への業態転換により前期末から1店舗減少し20店舗となり、とらふぐ等の食材販売、ロイヤリティ等によるフランチャイズ売上高は48百万円（前年同四半期比23.0%減）、国内既存店末端売上高は、139百万円（前年同四半期比7.9%減）となりました。

本部に係る売上高も含めた当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年にその他業態店舗を契約満了により閉店したこと等により115百万円（前年同四半期比16.3%減）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は847百万円（前年同四半期比11.3%減）となりました。利益面においては、売上高減少に伴い売上総利益は567百万円（前年同四半期比14.6%減）となりました。販売費及び一般管理費については、コスト管理の徹底は継続して行っておりましたが、売上高の減少により固定費をカバー出来なかったことや研修関連経費等が増加したこと等により694百万円（前年同四半期比7.1%減）となりました。これらにより、当第1四半期連結累計期間の営業損失は126百万円（前年同四半期は82百万円の損失）、経常損失は130百万円（前年同四半期は87百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は88百万円（前年同四半期は56百万円の損失）となりました。

また、当社グループは、主力事業である「玄品」の季節変動が大きいことにより、四半期毎の業績に大幅な変動があります。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して96百万円減少し、2,614百万円となりました。これは、商品及び製品の増加66百万円、投資その他の資産の「その他」に含まれる四半期特有の会計処理に係る繰延税金資産の増加49百万円等の増加要因はあったものの、現金及び預金の減少145百万円、売掛金の減少74百万円等の減少要因によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して11百万円減少し、1,292百万円となりました。これは短期借入金の純増額100百万円、買掛金の増加30百万円、流動負債の「その他」に含まれる預り金の増加13百万円等の増加要因はあったものの、賞与引当金の減少71百万円、長期借入金の返済による減少34百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払消費税等の減少19百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払費用の減少12百万円、未払金の減少16百万円等の減少要因によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して85百万円減少し、1,322百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少88百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、2026年5月15日の「2026年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	774,422	628,483
売掛金	271,324	196,440
商品及び製品	572,534	638,649
原材料及び貯蔵品	17,908	22,093
その他	83,535	99,966
貸倒引当金	△191	△176
流動資産合計	1,719,533	1,585,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	475,250	465,897
その他（純額）	59,682	60,062
有形固定資産合計	534,932	525,960
無形固定資産		
その他	10,886	10,308
無形固定資産合計	10,886	10,308
投資その他の資産		
差入保証金	246,620	248,445
その他	198,998	244,480
投資その他の資産合計	445,619	492,926
固定資産合計	991,438	1,029,195
資産合計	2,710,971	2,614,653
負債の部		
流動負債		
買掛金	117,300	147,417
短期借入金	350,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	139,980	139,980
未払金	212,039	195,415
未払法人税等	1,873	458
賞与引当金	100,800	29,117
株主優待引当金	9,787	13,500
その他	75,681	56,502
流動負債合計	1,007,462	1,032,391
固定負債		
長期借入金	250,050	215,055
その他	45,691	44,591
固定負債合計	295,741	259,646
負債合計	1,303,204	1,292,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	656,201	656,201
利益剰余金	1,033,277	944,571
自己株式	△288,020	△288,020
株主資本合計	1,411,458	1,322,752
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121	919
為替換算調整勘定	△3,812	△1,056
その他の包括利益累計額合計	△3,690	△136
純資産合計	1,407,767	1,322,615
負債純資産合計	2,710,971	2,614,653

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	954,920	847,211
売上原価	290,167	279,294
売上総利益	664,753	567,917
販売費及び一般管理費	747,352	694,535
営業損失（△）	△82,598	△126,617
営業外収益		
受取利息	8	4
補助金収入	2,261	775
受取補償金	-	1,623
差入保証金回収益	840	-
その他	1,339	734
営業外収益合計	4,449	3,137
営業外費用		
支払利息	5,336	3,007
支払手数料	1,353	1,406
その他	2,307	2,609
営業外費用合計	8,996	7,023
経常損失（△）	△87,145	△130,504
特別利益		
固定資産売却益	372	-
特別利益合計	372	-
特別損失		
固定資産売却損	4,137	-
投資有価証券評価損	-	7,826
特別損失合計	4,137	7,826
税金等調整前四半期純損失（△）	△90,911	△138,330
法人税等	△33,981	△49,624
四半期純損失（△）	△56,929	△88,706
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△56,929	△88,706

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純損失（△）	△56,929	△88,706
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	798
為替換算調整勘定	△2,525	2,755
その他の包括利益合計	△2,525	3,553
四半期包括利益	△59,455	△85,152
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△59,455	△85,152
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（セグメント情報等の注記）

当社グループは、店舗運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	22,066千円	19,501千円

（四半期連結損益計算書に関する注記）

当社グループの売上高は、通常の営業形態として、冬場におけるとらふぐ料理の需要が大きいため、第3、第4四半期連結会計期間の売上高と他の四半期連結会計期間の売上高との間に著しい相違があり、業績の季節的変動があります。